

【弓道競技申し合わせ事項について】

競技については、(財)全国高等学校体育連盟弓道競技規則及び(財)全日本弓道連盟弓道競技規則に則って運営されますが、近年、競技規則にないからと独自の解釈をし、マナーを疑うような行為が多々見られるようになりました。

全国高校総体弓道競技は権威のある大会です。安全・円滑かつ公正に運営され、選手が気持ち良く大会に臨めるよう下記についてご注意ください。

1 応援について

競技規則 第14条(1)

射場外からの応援は、「よし」の発声または「拍手」にとどめること

- (1) 出場選手が日頃の練習の成果を充分発揮できるよう応援(観覧)の仕方には充分注意してください。自チームに対する熱心な応援が、時として相手チーム(他チーム)の迷惑となる場合があります。最近、長い拍手や奇声ともとれるような応援があります。爽やかな応援を心がけてください。
- (2) 相手チームが外れた時「よし」と発声することは絶対にやめてください。保護者の方々にも周知をお願いします。
- (3) 競技会場への校旗や部旗の掲揚はご遠慮ください。
- (4) 射位正面の観覧席は立ち入り禁止としておりますので、ご協力ください。
- (5) 射場外からのフラッシュ撮影は、ご遠慮ください。

2 選手の服装等について

服装は競技規則第11条(1)を厳守してください。

- (1) 弓道衣に校名・校章および都道府県のシンボルマークを入れる場合は、片袖で、大きさは縦横10cm以内です。シンボルマークを入れられる場合は充分ご注意ください。
- (2) 鉢巻を使用する場合は、無地で長さは肩までです。なお、校名・校章・氏名に限り入れてもよいですが、場所は鉢巻の端にしてください。
- (3) 弓道衣のアンダーシャツ (糸も同色の機能性下着含む) は白・黒・紺の無地です。ただし、丸首、Vネックとします。ハイネックは不可です。
- (4) 負傷による手の内の包帯・テーピング・キネシオテープは可です。ただし、必要最小限とし、色は白またはベージュです。
- (5) 手首のサポーターやテーピングは禁止です。(特別な事情がある場合は、大会本部に申し出てください。)
- (6) サポーターは肘のみ、白・黒・紺のアンダーシャツと同じ色または、ベージュです。
- (7) リボン・ピアスやミサンガ等の装身具類は着用しないでください。
- (8) 腕などへの書き込みはおやめください。
- (9) 弓道衣の袖をまくっていたり、折り曲げている選手は元に戻してください。

3 ゼッケンについて

- (1) 監督・選手の責任でしっかり管理をしてください。ゼッケンが無い場合は、選手の確認がとれず行射できないこととなります。
- (2) 白布であること。規格が違っているゼッケンも目立ちます。正しく右腰前に付けてください。

4 弓具について

本番でトラブルの原因にならないよう、事前に点検・修理をお願いします。

- (1) 照準・目印と判断される恐れのある矢摺籐の汚れや欠損がないようにしてください。矢摺籐の長さは6 cm以上です。
- (2) 矢の長さ、矢尻、矢筈、羽根 (9 cm~15 cm) などしっかり確かめてください。選手は本番になると予想以上に引き込んでいることが多く、矢束ぎりぎりの短い矢を使うのはおやめください。

5 第三控・第二控・入退場における選手・監督の心得

- (1) 第三控、第二控は、選手にとってモチベーションを高めるために静かな環境が必要です。不必要な発声や呼吸音・立ち歩くなど、相手チームの迷惑・妨害となる行為はやめてください。また、必要以上に大きな声での挨拶や返事、礼記射義の斉唱なども迷惑になりますのでおやめください。
- (2) 入場時のチームへのかけ声や退場口付近での対戦チームへのあいさつ等の発声は禁止です。
- (3) 滑り止めスプレーや濡れた布等を使用して足袋を濡らさないでください。

6 監督について

- (1) 監督は一度変更すると復帰できません。
- (2) 服装は競技規則第11条(2)および実施要項の連絡事項を厳守してください。
- (3) 射場への持ち込みは予備矢・予備弦程度にとどめてください。大きな荷物の持ち込みはご遠慮ください。また、「ギリ粉」や「筆粉」、「IDカード」などはカゴ（貸し出します）に入れてください。